

古都鎌倉史跡めぐり <sup>ぜんさつ</sup>～禅刹に法の雨降らす「龍」を巡る～ に参加して

9月3日に鎌倉ガイド協会主催の「龍」コースに参加いたしました。「なにをモノズキな?!」と自分でも思いましたが、とにかく鎌倉を知りたかったということです。

龍は中国発祥の想像上の動物ですが、仏教では仏の教えを助ける守護聖人のようなものの一つで、法の雨(仏法の教え)を降らすと信じられ、法堂の天井に描かれているそうです。天井を見ることがなかったので、楽しみにして参りました。今回はそれぞれに特徴のある龍の姿を眺めることが出来ました。恐ろしさを爆発させつつ、滑稽味で魅了する姿です。超絶パワーを表現するには適しているでしょう。昔の人は諸霊に悩まされ、守ってくれるというものには、すぐる気持ちが強かったのでしょうか。龍だけではなく、円覚寺の静寂な境内の雰囲気にも心惹かれました。13世紀から、鎌倉で、祈りながら救いを求めた人々に心を寄せることができました。日本人は禅宗の生真面目さや、「侘び、寂び」という心境には、敬意を持ちます。日本人の文化的特徴ではないでしょうか。お寺は美しい、興味深い、歴史を感じさせるものを沢山所蔵しているのですね。見た順番が、気に入った龍の順番かもしれません。

(1) 円覚寺 仏殿 「白龍図」



1964年 前田青邨 監修・日本画家守屋多々志 作

<http://kamakura-guide.jp/engakuji>

(2) 円覚寺塔頭 如意庵 「守り龍」



作年、作者 不明 檀家の寄進

<http://www.kamakuratoday.com/suki/iine/1044.html>

(3) 円覚寺塔頭 白雲庵 本堂 「雲龍」



2004年 入江正巳 作

<http://www.kcn-net.org/senior/tsushin/ttemple/v05/0509kiri/rakkei.htm>

(4) 建長寺 法堂 「雲龍図」



2003年 小泉淳 作 筆

[http://www.rinnou.net/exhibition/ex\\_06.html](http://www.rinnou.net/exhibition/ex_06.html)